

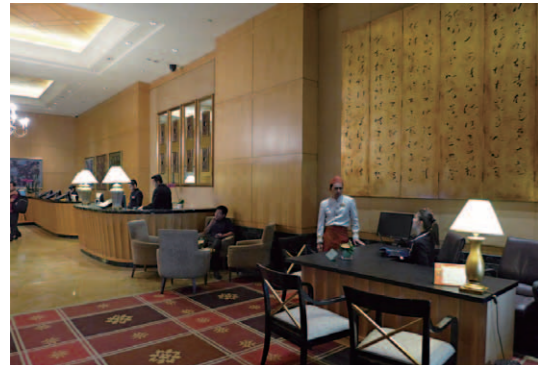
マンダリン オリエンタル クアラルンプール Mandarin Oriental, Kuala Lumpur

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



KLCCの一角にオープンした「Mandarin Oriental, Kuala Lumpur」の正面ファサード



広いレセプションホール。レセプションデスクとコンシェルジュが並ぶレイアウトだ



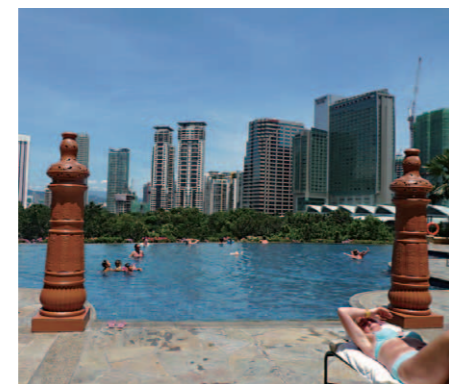
漢字が書かれたお馴染みの扇など、東洋趣味の雰囲気が漂うエレベーターホール



筆者 小原康裕
ホテルジャーナリスト。
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re入社。85年築地原健代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
※現在、著者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。
www.jhrca.com/worldhotel



広大なKLシティーパークから望む「Mandarin Oriental, Kuala Lumpur」と、隣接するクアラルンプールを代表するランドマークである「Petronas Twin Towers」の全景



早朝のまだ人影の少ないプールサイド

クアラルンプール市内の高層ビル群が望めるオープンエアのスイミングプール



ロビーを真っすぐ進んだ正面にあるラウンジ「Lounge on the Park」



マンダリンスパのロゴが掲げられた「The Spa at Mandarin Oriental」のエントランス



中2階の回廊から俯瞰したカクテルタイム時の「Lounge on the Park」



広東料理の「Lai Po Heen 麗寶軒」の店内



「Deluxe Park View Room」のベッドルーム。約40㎡の広さがあり広大なKLシティーパークの向こうにクアラルンプール市内の高層ビル群を望める



標準的スペースの使い勝手の良いバスルーム



部屋から眺める緑の美しいKLシティーパークと、KLCCを取り巻く高層ビル群

マンダリン オリエンタル クアラルンプール(以下MO/KL)はクアラルンプールのランドマークであるペトロナスツインタワーに隣接し、目の前は広大なKLシティーパークの緑が映える絶好のロケーションに立地している。この辺りはKLCC「Kuala Lumpur City Centre」地区と呼ばれ、伊勢丹や紀伊国屋も入るショッピングモールやコンベンションセンターも含めたマレーシア最大級の複合施設である。

MO/KLは隣接するペトロナスツインタワーとは密接な関係にある。タワーは地上452m、88階建ての超高層ビルで、ツインタワーとしては現在も世界一の座を保持している。そして、MO/KLは複合施設KLCCの宿泊施設部門を担っており、どちらも1998年に合わせて開業している。KLCCがオープンされる以前は、高級ホテルの先駆けとなった旧リージェントをはじめリッツカールトン、ウェスティンなど多くのホテルは繁華街のブギッ・ビンタン地区に集中していた。そこは道路が狭い上に複雑に入り組んでおり交通渋滞で難儀していたが、最近ではグランドハイアットなど新規開設の大型ホテルは区画整理がなされたKLCC地区に移行してきている。

MO/KLは602室を数えるゲストルームと41のスイート、そして51のレジデンスを擁する大型高級ホテルだ。ホテルはL字形をした30階建ての建物で、客室の眺めによってパークビューやペトロナス・タワービュー等にカテゴリーが分かれる。筆者にアサインされた部屋は「Deluxe Park View Room」で、KLシティーパークやスイミングプールを望む約40㎡の広さの客室だ。エントランスホールやレセプションカウンターは十分な広さを確保し、エレベーターホールには漢字をモチーフにしたお馴染みの扇を掲げるなど東洋趣味の雰囲気が漂っている。ロビーを真っすぐ進むと、シティーパークに面したラウンジ「Lounge on the Park」がありアフタヌーンティーで賑わっている。左手にはオールデイダイニングの「Mosaic」があり、和食を含めて世界各国の料理が楽しめる。そのほかファインダイニングの「Mandarin Grill」、広東料理の「Lai Po Heen 麗寶軒」、日本料理の「わさび・ピストロ」など館内には9軒のレストラン・バーがあり、ゲストのあらゆる要望に応じている。スパは8室のトリートメントルームを備えた「The Spa at Mandarin Oriental」があり、フィットネスやエアロビクススタジオも併設されている。ここの屋外プールは人気が高く、クアラルンプールの高層ビル群を望み終始賑わいを見せている。

MO/KLは前述したようにKLCCにあるペトロナスツインタワーとセットでオープンし、抜群の立地や話題性からしてその成功が約束されていたと言える。しかし、それに甘えることなくハード・ソフト面でゲストへの配慮を心掛け、常にホスピタリティ意識の向上を図っている。